

# 家庭菜園相談室

今月の  
テーマ

## 痩せ地でも栽培ができる！ 栄養価の高い野菜～キクイモ～



キクイモは、ジャガイモが作れないような荒地でも生育でき、草丈が最大3メートルにもなる、土壌をあまり選ばない繁殖力の強い植物です。「菊に似た花を咲かせる芋」が名前の由来にもなっています。

栄養価が高く、煮物、炒め物など様々な調理法で楽しむことができ、また生のままサラダで食べるとシャキシャキとした食感が楽しめます。

作型目安

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
キクイモ	●	●			支柱立て			開花	■	■	■	■

● 植え付け

■ 収穫

栽培の  
ポイント

- ・ 痩せ地でも生育するので、肥料は少なめに施します。
- ・ 加湿を嫌うため、やや乾燥気味に管理します。
- ・ 草丈が最大3メートル程伸び、横にも枝が伸びるので、風の強いところでは倒伏防止のため支柱を立てます。
- ・ 畑地に未収穫の塊茎が残っていると野生化し、ほ場に蔓延する危険性があるので全て掘り上げましょう。

畑の準備

植え付けの2週間前に苦土石灰100g/m<sup>2</sup>を施して、深さ30センチ位までよく耕します。  
植え付けの1週間前には堆肥2kg/m<sup>2</sup>と化成肥料(8-8-8)50~100g/m<sup>2</sup>を施して、よく耕します。

植え付け

種イモは、保存状態の良い20センチほどの大きさの種イモ(塊茎)を選び、3月下旬頃に遅霜がなくなったら、幅100センチの畝を立て株間50~60センチ間隔の1条植えに、深さ10センチ程度に植え付け、土を被せ軽く押さえます。

管理

芽がたくさん出てきたときには、芽かきをして2~3本にします。  
また、草丈があまりに伸び管理しにくいようなら、背丈程度で摘心しましょう。

土寄せ

倒伏防止のため、7月中旬頃まで、3週間に1回くらいのペースで土寄せをします。

支柱立て

風の強い地域や砂地では倒伏しやすいので、しっかりとした支柱を立てます。

追肥

追肥はほとんど必要ありませんが、元肥にカリを入れると生育が良くなるのでおすすめです。

病虫害防除

病虫害の被害は比較的小さいですが、生育後半にうどんこ病が発生する場合があります。  
農薬を使用する場合は、作物登録のある農薬を使用しましょう。

収穫

地上部の茎や葉が枯れてきたら、地際から茎葉を刈り取って、塊茎を収穫します。  
掘り上げた塊茎はしなびやすいため、3月までは土中に置いて必要に応じて収穫しましょう。  
【注意】収穫時に塊茎(キクイモの小片など)を収穫し忘れると、繁殖が旺盛なため野生化してはびこるので、必ず掘り残しの無いようにスコップで丁寧に掘り上げましょう。

その他、家庭菜園に関する相談は、JAの支店または営農経済センターまでご連絡ください。